

## IAUD Newsletter vol.14 第5号(2021年8月号)目次

1. IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介⑦……………1
2. 「IAUD 国際デザイン賞 2021」応募受付中……………9
3. 第22回UD検定・初級／第13回UD検定・中級 オンライン開催のご案内……………10
4. IAUD 8月の予定……………10



## 革新的なUD活動を国際的に表彰

### IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介⑦

IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介の第7回目は、公共空間デザイン部門金賞を受賞した設計事務所ゴンドラ(日本)の「喧噪な駅の中で、ひと時安らぎを感じるトイレ」と、教育部門金賞を受賞した富士通株式会社／関西学院大学／株式会社NTTドコモ／一般財団法人 沖縄美ら島財団／公益財団法人 日本財団／株式会社 横浜八景島／バーチャルオーシャン製作委員会(日本)の「誰一人取り残さない教育の実現に向けて 5G や VR・水中ドローン等の先端技術を活用した遠隔教育プロジェクト」です。

ロジャー・コールマン審査委員長(英国王立芸術大学院名誉教授)は「喧噪な駅の中で、ひと時安らぎを感じるトイレ」について、「トイレ用品のデザインで世界をリードしてきた日本は、抑制されつつ非常に効果的なUDで、トイレを使用する時の雰囲気や楽しみにも重きを置くことにより、そのすばらしい実績をまた一步前へ進めた」と評価しています。

「誰一人取り残さない教育の実現に向けて 5G や VR・水中ドローン等の先端技術を活用した遠隔教育プロジェクト」については、「新しい技術がいかにして、これまで取り残されてしまっていた人々に機会や可能性を与えることができるかを示したすばらしい実例。障害のある子どもたちが障害のない子どもたちと一緒に学べるようにするにはどのようにしたらいいか実証した」と評価しています。

今号の Newsletter では、「喧噪な駅の中で、ひと時安らぎを感じるトイレ」の取り組みを設計事務所ゴンドラの小林純子所長に、「誰一人取り残さない教育の実現に向けて 5G や VR・水中ドローン等の先端技術を活用した遠隔教育プロジェクト」の取り組みを富士通株式会社の杉妻謙氏に、それぞれ紹介していただきます。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介①は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介②は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介③は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介④は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介⑤は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介⑥は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 プレゼンテーション／表彰式開催報告は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞結果は[こちら](#)をご覧ください。

※IAUD 国際デザイン賞 2020 審査講評は[こちら](#)をご覧ください。

## UD で誰もが使いやすく快適で安らげるトイレを実現

公共空間デザイン部門金賞：喧噪な駅の中で、ひと時安らぎを感じるトイレ  
設計事務所ゴンドラ：日本



公共空間デザイン部門金賞を受賞した小田急線新宿駅西口地下トイレ

### トイレをすべての利用客にとって心安らぐ場に

2017年12月、小田急電鉄株式会社は新宿駅西口地下トイレの改修を実施し、設計と監理を設計事務所ゴンドラが担当しました。

新宿は、繁華街、歓楽街、オフィス街、さらには都庁もある東京の中心地です。小田急線新宿駅だけでも一日あたり約50万人、新宿駅全体では約350万人もの乗降客があります。

改修した小田急線新宿駅西口地下トイレは雑踏する駅コンコースに面しており、早朝から深夜まで多様な性別・年齢・国籍、障害者や親子連れなど、様々な人が利用します。

駅トイレは不特定多数の利用があるため、すぐに汚くなったり、壊れたり、ひいては犯罪にまで利用されるなど、あまり快適ではなく、怖い印象さえあります。

今回改修するにあたり、立地や使用状況からの課題、さらには駅トイレの役割を考慮しました。そして、トイレが使いやすく常に快適であるだけでなく、ここに入ると、すべての利用客が街や駅での喧噪やストレスから逃れ、心の安らげる場にしようと考えました。



東京・新宿の高層ビル群

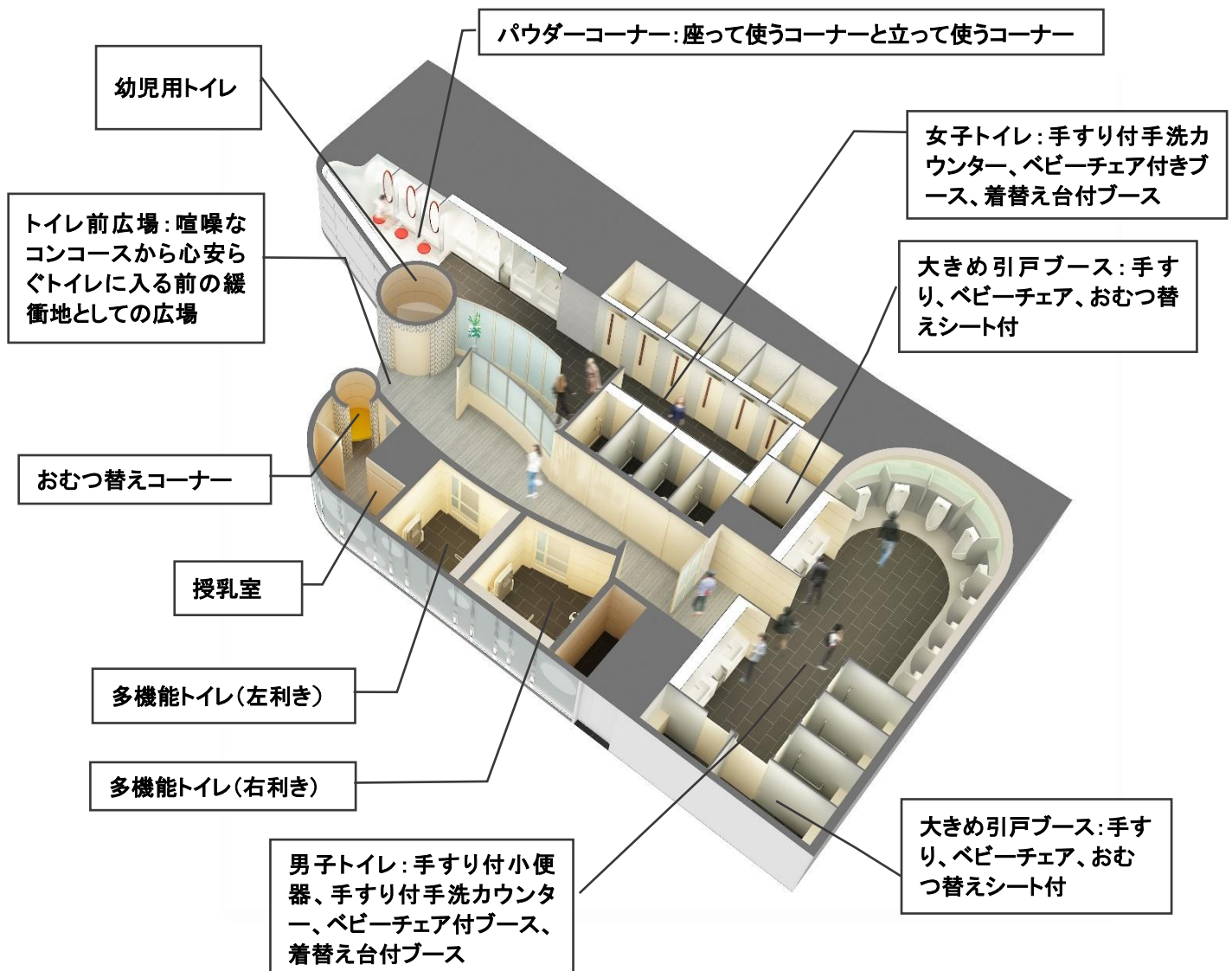
## 13 種類の個室やコーナーを設置

公共トイレは基本的には排泄する空間ですが、公共の場で一人になれ、そこで落ち着き、リフレッシュする場でもあります。排泄以外に、次の行動にゆとりを生む場になることが期待されます。

そのため、このトイレでは利用するすべての人が使いやすく、安らぎを感じさせる様々なデザインを施しました。

具体的には、年代や性別、国籍、障害の種類や排泄方法の違いを考慮し、乳幼児や高齢者などの介助に適した機器や補助具を備えた、広さの異なる 13 種類の特別個室やコーナーなどを用意しました。具体的には、オストメイト(人工肛門・膀胱保有者)対応で車椅子のまま利用できる多機能トイレ 2 か所(右利き用と左利き用)、授乳室、おむつ替えコーナー、幼児用トイレ、パウダー(化粧)コーナー、手すり付き小便器、男女トイレにあるベビーチェア・おむつ替えシート付き大きめ引き戸ブース 2 か所、手すり付き手洗いカウンターです(下図参照)。

そして、安らぎ感を持たせるデザインを、平面、空間、色彩、材料、照明、換気、空調、サイン計画などの検討過程で具現化しました。



13 の特別個室やコーナー

## 利用者一人一人に向き合ったUD化

新宿駅には、通勤通学者、観光客、買い物客、ホームレスなど多様多数の利用者がおり、トイレの利用者層も幅広くなっています。「安らぎ感と使いやすさを誰もが享受できるトイレ」をコンセプトに、入念に考慮してUD化を実施しました。

デザインのプロセスには、利用者一人一人のあらゆる行動と残存能力のサポートを考えること、利用者の誰もが安らぎを感じることを重視しました。UDに配慮したアイデアは以下のとおりです。

### ① コンコースの喧噪感をトイレに持ち込まない

コンコースに面して直にトイレの入口を設けるのではなく、雑踏からの緩衝空間としてトイレ前広場を作り、まずそこに入るようにデザインしました。

広場は雰囲気を変えるのに効果的な明るい光天井とし、人混みから気分転換できるように、コンコースとは別空間としてデザインしました。

また、季節感の醸成やおもてなしの心を表現するため、生け花ポットをデザインし、定期的に活け替えた花を飾ってあります。



明るく快適なトイレ前広場

### ② 誰もが自分に合ったトイレを選択できる

トイレ前広場には多機能トイレ、幼児用トイレ、授乳室、おむつ替えコーナー、そして男女別入口が設置されており、自分の状況に応じたトイレを選択しやすくしました。

多機能トイレは2か所設けることで男女共用トイレを増やし、LGBTなども含め多様な使用にも対応しています。

さらに、視覚障害者にもわかりやすいよう、施設案内には蝕知図が用意されています。また、海外からの旅行客用にはスーツケース置き場も通路に備えています。



オストメイト対応の多機能トイレ 幼児用トイレ(左)とスーツケース置き場 授乳室(左)とおむつ替えコーナー

### ③ 各トイレ内部は、ゆったりした居心地の良い空間に

プライバシーの確保された個室や、透明感のあるデザインでさわやかな手すり付き小便コーナー、開放的な手すり付き手洗い場、ラグジュアリー感のあるパウダーコーナーなどを設置しています。

それらは、適切な広さや換気などの基本的機能と、自然感を表現するために木やタイル、水を感じるカラーガラスなど自然素材を使用したデザインとしており、居心地の良さを機能面とデザイン面の両方から達成しています。

また、一日の外部の変化をトイレで感じてもらうために、全照明の調光・調色を施し、朝昼晩の光を変化させています。

さらに、トイレは利用者が多数ある割には狭いため、行動が交錯する場所では曲面状の壁を用いることで空間を柔らかくし、行動がスムーズになるようにしました。



男子トイレ内の小便コーナーと手すり付き手洗い場、女子トイレ内のパウダーコーナーと手すり付き手洗い場

#### ④ トイレ待ちへの配慮

駅トイレの特性としてトイレ待ちがありますが、その場も考慮してストレスの少ないようデザインされています。



開放的なデザインのトイレ前待合スペース→

### 人間として大切にされていると感じるトイレ

駅トイレは利用者層が幅広く多くの課題を抱えており、快適なトイレをデザインしても長続きしない、と諦めがちにされてきました。

このトイレは、長年その繰り返しを経験してきた小田急電鉄株式会社が、あきらめず果敢にチャレンジしたトイレです。

ここでは、誰もが自分に合った個室やコーナーを見つけることができます。これは、人々の駅や街への愛着にも繋がります。

このトイレは竣工3年目になりますが、固定客が多く、利用者には大変好評です。UDで誰もが使いやすく快適である上に、みんなが安堵感を感じられると、利用者から高い評価をいただいています。「このトイレを使うと、人間として大切にされていると感じる」との意見もありました。

また、トイレは竣工後も長期にわたって快適に利用できる必要があります。このトイレの隣の部屋にはメンテナンス従事者が常駐しているため、徹底した清掃が実施されており、快適化が継続しています。

### UDとメンテナンスとのトータルデザイン

公共トイレは街の中の貴重なプライベートゾーンです。そこの豊かさは、直接人々の心に届き、街の生活を快適にしてくれます。

そのためには、機能面だけでなくトイレ空間のデザインにも着目することが必要だと考えています。

日本では、過去の公共トイレは4K(汚い・暗い・怖い・臭い)の代名詞のようなところだったため、機能の改善のみが重要視されていました。

また、公共トイレの改善への動きは急速に起こったため、評価の対象が外観のみのデザインだったり、機器だけだったりと部分的で、一番大切だと思っている総合的な評価にまで至っていないと感じていました。

今後は、公共トイレの評価は誰もが使えるのか、いつでも快適なのか、過ごす時間が心地よいか、即ち、UD とメンテナンスとのトータルデザインが問われてくると考えます。

これらを大切にしながら、今後もさらに公共トイレのプロジェクトに励んでいこうと考えています。

※設計事務所ゴンドラの公式 HP は[こちら](#)をご覧ください。



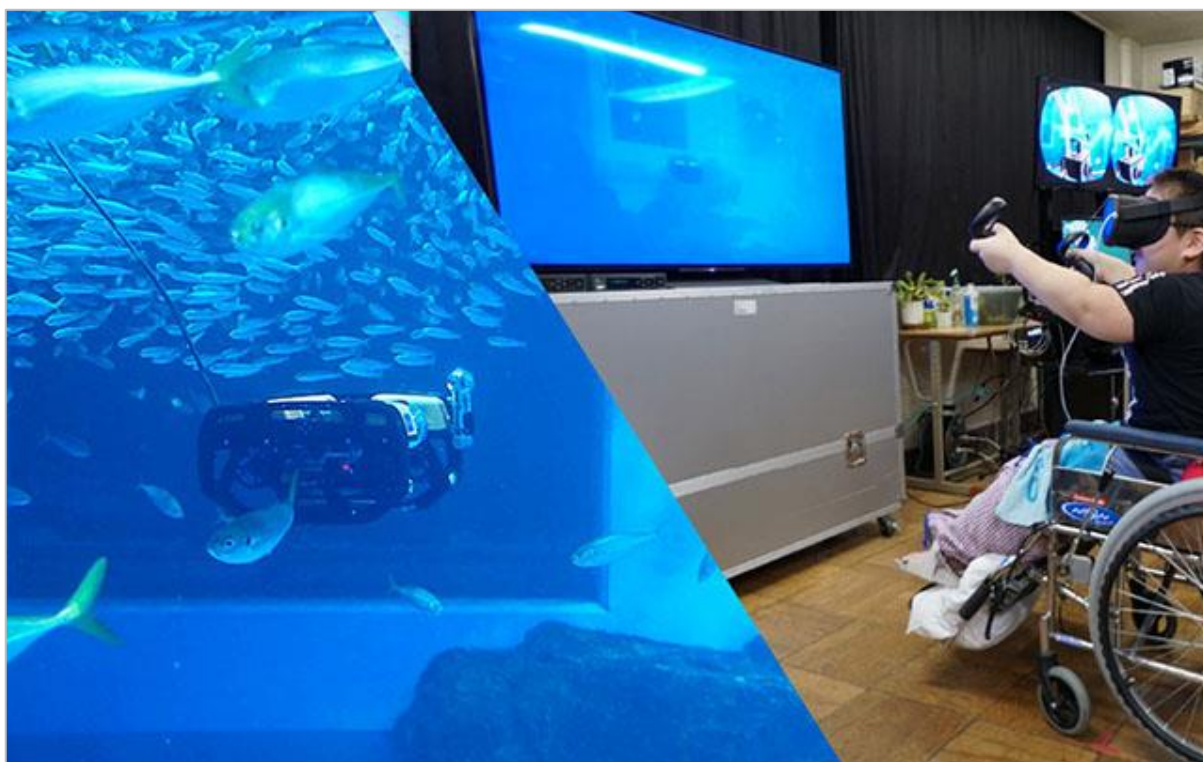
## 入院中の子どもたちに体験学習を提供し生きる力を育成

教育部門金賞：誰一人取り残さない教育の実現に向けて

5G や VR、水中ドローン等の先端技術を活用した遠隔教育プロジェクト

富士通(株)／関西学院大学／(株)NTTドコモ／一般財団法人 沖縄美ら島財団

公益財団法人 日本財団／(株)横浜八景島／バーチャルオーシャン製作委員会：日本



水族館と院内学級をつないで大水槽にある水中ドローンを魚視点で操作する子ども

### 入院中の子どもたちをサポートする産学官連携プロジェクト

「長期入院のため病院内に設置された院内学級で学ぶ子どもたちの、生きる力のより一層の向上につながる体験をさせてあげたい」。このような思いから、入院中の子どもたちを対象に、5G など先端技術を用いて水族館と院内学級をリアルタイムで結んだ遠隔教育プロジェクトを実施しました。

このプロジェクトは、SDGs(国連が採択した持続可能な開発目標)に掲げられた目標 4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供」の達成にもつながる取り組みです。

2019年から富士通株式会社と関西学院大学の共同研究として、横浜八景島シーパラダイス、沖縄美ら海水族館、特別支援学校、株式会社NTTドコモ、日本財団、海と日本 PROJECTなどの協力を得ながら産学官共創で実現し、多様なセクターで社会課題解決へ取り組むソーシャルデザインプロジェクトになっています。

### 先端技術を活用した質の高い教育環境を実現



水族館の大水槽にいるジンベエザメをマルチアングルで観察する子どもたち

院内学級の子どもたちは病院からの外出に制限がある場合が多く、校外学習などの体験学習への参加機会に制約があります。そのため、心身の成長に必要な体験が不足がちになるという課題があります。

このプロジェクトでは、「院内学級の子どもたちの心身の成長に必要な体験の提供」に向け、5Gでの高精細映像伝送技術やVR(バーチャル・リアリティ、仮想現実)、水中ドローン、Web会議などの先端技術を活用して、神奈川県立と東京都立の院内学級と水族館を接続し、遠隔校外学習体験を実証しました。

水族館の水槽の様子を高精細な4K映像でリアルタイムに伝送すると、病院内の教室にいる子どもたちは臨場感溢れる鮮明な映像を見ながら水槽内にある水中ドローンを遠隔操作して、泳いでいる魚たちを360度マルチビューで鑑賞したり、VRヘッドマウントディスプレイ(頭部装着ディスプレイ)を装着して、実際に自分が水槽の中に潜って魚を間近で見ているような感覚を体験したり、遠隔で水族館職員による魚の生態に関する解説を聞いたり、校外学習への参加が困難な子どもたちが海や生き物についての学びを深める質の高い教育を提供しました。

## 子どもたちの生きる力の向上へ寄与



VR ヘッドマウントディスプレイで大水槽内の魚を観察する子どもたち

体験中は院内学級に子どもたちの明るい声が響きわたりました。VR ヘッドマウントディスプレイを身に着けた子どもたちは、水槽の中を泳ぎ回るような気分を味わい、魚の視点で大水槽内の巨大なジンベエザメなどを観察し、口元をほころばせながら歓声をあげていました。

その体験や感覚はリアリティがありすぎて、「怖い」という子もいたほどです。興奮冷めやらない子どもたちが病室に戻ってからも楽しそうに感想を話し続ける姿に、先生方も一緒に喜んでいただきました。

2019年12月と2020年2月の2回行われた実証では、約30人の子どもたちが普段経験することができない臨場感ある質の高い体験ができ、深い学びだけでなく同時に自信をも得られ、生きる力の向上への寄与につながりました。

今回の実証は院内学級の特別活動として行いましたが、実証後の教員アンケートでは、「総合的な学習の時間や理科、環境問題、海洋汚染などと関連付けて授業を展開できる」「学習指導要領での疑似体験や模擬体験の充実にも役立つ」などの回答をいただき、学校現場での先端技術を活用した遠隔教育の有効性を実証できました。

## 誰一人取り残さない社会の実現に向けて

コロナ禍により、学習保障を目的とした遠隔教育が急速に普及しています。このプロジェクトでは、学習保障のみならず学習の基盤となる「体験的な学習・教育」の遠隔実施を実証できました。

さらに、コロナ禍対応だけでなく、様々な理由で登校が難しい子どもや過疎化地域の子どもなど、遠隔での取り組みが必要な場合に広く用いられる教育指導方法の一つとなることも期待されます。

このプロジェクトは多方面で認められ、「第4回ジャパンSDGsアワードSDGsパートナーシップ賞(特別賞)」「2020年度キッズデザイン賞」を受賞するなど、入院中の子どもたちに多彩な体験学習を提供して生きる力を育成する非常に重要な取り組みとして評価されました。



今後も誰一人取り残さない社会の実現と社会課題の解決に向け、先端技術を活用した新たな価値提供を目指します。

※「誰一人取り残さない教育の実現に向けて 5G や VR、水中ドローン等の先端技術を活用した遠隔教育プロジェクト」詳細は下記リンクをご参照ください。

・5G による遠隔教育をデザイン～水族館と院内学級をつないだ体験学習: 富士通

<https://www.fujitsu.com/jp/about/businesspolicy/tech/design/activities/5gdisteduc/>

・5G 時代に向けた遠隔教育、水族館と院内学級をつなぎ VR と水中ドローンで体験学習: FUJITSU JOURNAL(富士通ジャーナル)

<https://blog.global.fujitsu.com/jp/2020-03-04/01/>

・関西学院大学と富士通、5G を活用した遠隔教育の実証実験を実施: 富士通

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2020/02/28.html>



## 持続可能な共生社会の実現に向けて

8/31 締切！「IAUD 国際デザイン賞 2021」応募受付中

IAUD は一人でも多くの方が快適で暮らしやすい UD 社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体・個人を表彰する「IAUD 国際デザイン賞 2021」の募集を開始しました。

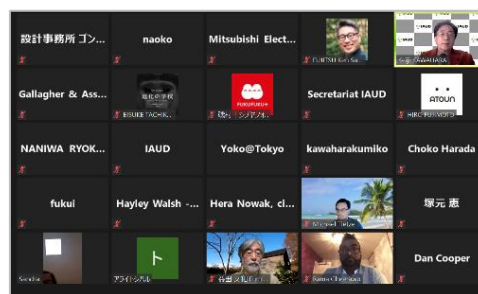
審査委員会が最も優れていると判断したものに「大賞」を授与するほか、部門別に「金賞」「銀賞」「銅賞」を予定しています。

今年度より、「未来への提案」「学生デザインチャレンジ」という2つの特別カテゴリーを新設しました。

「未来への提案」はコンセプト段階のプロジェクトの実現化に向けた開発促進を応援するものです。また、「学生デザインチャレンジ」は学生のプロジェクトが対象で審査登録料を無料としております。

第1次審査応募締め切りは8月31日(火)です。皆様の応募をお待ちしております。

※「IAUD 国際デザイン賞 2021」詳細は[こちら](#)をご覧ください。



世界13か国約170人がオンライン参加したIAUD 国際デザイン賞 2020 表彰式の様子



## 在宅でいつでも UD 資格取得！

### 第 22 回 UD 検定・初級及び第 13 回 UD 検定・中級オンライン開催

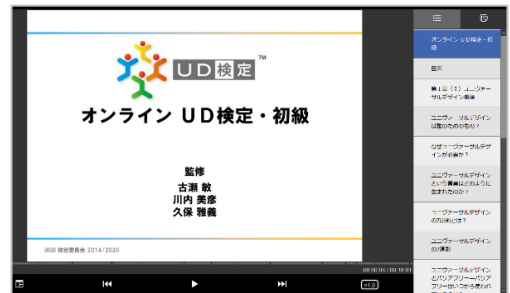
IAUD は「第 22 回 UD 検定・初級」及び「第 13 回 UD 検定・中級」をオンラインで実施します。

「UD 検定・初級オンライン」は、UD に関する基礎的な知識を学習する講習と力試し問題、検定試験(30分・50問)のセットです。

「UD 検定・中級オンライン」は、力試し問題と UD 検定・中級試験(70分・130問)を受けていただきます。試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」(A4判 263ページ)に準拠して出題されます。

力試し問題と検定試験は、実施期間中であれば時間・場所を問わず受けることができます。合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には「認定証」を発行します。

- 「第 22 回 UD 検定・初級」申込受付は 8 月 12 日(木)、「第 13 回 UD 検定・中級」申込受付は 8 月 19 日(木)までです。この機会に是非、ご利用ください。
- ※「第 22 回 UD 検定・初級オンライン」申込みは[こちら](#)をご覧ください。
- ※「第 13 回 UD 検定・中級オンライン」申込みは[こちら](#)をご覧ください。
- ※公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」ご購入は[こちら](#)をご覧ください。



「UD 検定・初級オンライン」講習画面



中級受験に必須の公式テキストブック

## IAUD 2021 年 8 月の予定

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	1/8
9 振替休日	10	11	12 UD 検定・初級 申込締切	13 IAUD 事務局 夏季休暇	14	15
16	17	18	19 14:50~ 衣の UDPJ オンライン会合 UD 検定・中級 申込締切	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31 IAUD 国際デザイン 賞 2021 応募締切					

次号は 9 月上旬発行予定 特集: IAUD 国際デザイン賞 2020 受賞紹介⑧ほか

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会  
 事務局: 〒225-0003 横浜市青葉区新石川 2-13-18-110  
 電話: 045-901-8420 FAX: 045-901-8417 e-mail: info@iaud.net